

6月補正予算

【一般会計】 16億 1,710万円 追加
 【特別会計】 1,927万5千円 追加
 【補正総額】 16億 3,637万5千円 追加
 ※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、5.6%減額となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

総務費 2億 7,585万4千円
 南地区活動拠点センター建設事業、新・省エネルギー推進事業 ほか

民生費 3億 6,016万9千円
 緑学童保育所建設事業、南児童館建設事業 ほか

商工費 5,198万1千円
 日口定期フェリー関係事業 ほか

土木費 4億 3,713万5千円
 街路灯管理事業 ほか

教育費 3億 6,371万5千円
 稚内北星学園大学支援事業、小学校耐震化事業、稚内南小学校整備事業、学校給食費助成事業 ほか

からの2年間に、日中双方のさまざまな交流拡大に向けた、取り組みを具現化していくことが合意されました。こうした動きを受け、日中間の観光交流復活の気運を盛り上げ、継続的展開に繋げていくため、去る5月22日から24日まで、日本から3千人が参加する「日中観光文化交流団」が派遣され、私も中国人観光客の倍增の糸口とするべく、参加してきました。

訪日する中国人観光客は、東日本大震災や日中関係の影響により落ち込んだ時期もありましたが、近年は増加傾向となっており、昨年には過去最高を記録したところです。

本市も、外国人観光客は年々増加傾向にあり、特

に、台湾、香港、シンガポールなどの、アジア諸国からの来訪が多くなっています。今回の日中観光文化交流団への参加を足掛かりに、外国人観光客の更なる誘致活動を継続すると共に、受入体制の強化など、本市を訪れる外国人観光客が、不便をきたすことの無いよう対策を行っていききたいと考えています。

平成26年度の観光入込客数の概要と平成27年度のFDAチャーター便の就航について

本市の平成26年度観光入込客数は、総数48万2500人、前年度と比較すると1万4900人、3・0%の減となり、平成23年度以来の減少となりました。内訳は、平成26年4月から9

月までの上期は、前年度比5・2%の減少でしたが、逆に平成26年10月から平成27年3月までの下期は前年度比、3・6%の増となり、4年連続での増加傾向を維持しています。

また、外国人観光客は、対前年度比で、13・1%の増となり、特に東南アジア諸国からの来訪が伸びている状況です。

今年度も、官民が連携し、戦略的な視点のもと、観光産業の底上げに取り組んでいきます。

次に、今季のFDA社による、稚内空港へのチャーター便については、1府19県、22空港から、計117本の運航が予定され、8千人を超える集客と地域全体における延べ宿泊数として

は、約2万泊が予定されています。

これらを契機に、訪れた観光客が、2回目、3回目と本市を来訪したくなるような、魅力ある観光地づくりを目指すとともに、すそ野の広い観光産業が、地域経済活性化の起爆剤となるよう、今後も観光振興に積極的に取り組んでいきます。

市民第九合唱について

5月16日に、本市と稚内音楽文化協議会などの主催による市民第九合唱が、稚内総合文化センターで披露され、ベートーヴェンの第九「歓喜の歌」は、集まった市民に大きな感動を与えました。

市民第九合唱は、昭和59年の稚内総合文化センター落成記念として、札幌交響楽団の演奏において披露されたのが最初であり、これを期に、故井須孝誠稚内市名誉市民のご尽力で、稚内音楽文化協議会が設立され、以後毎年、札幌稚内定期演奏会が行われ、本市の文化芸術の発展にも大いに寄与しています。

今回は、この定期演奏会が30回目の節目となることを記念したもので、昨年12月に市民200名による合唱団が結成されて以降、約



定期演奏会30回目を記念した市民第九合唱

半年間にわたり取り組んできました。

ご指導いただいた、高井早苗先生をはじめ、合唱団に参加された市民の皆さんも大変なご努力をされたものとご推察いたします。また、今回の合唱団は、小学生から85歳まで幅広い年代で構成されていることから、本市の文化振興の取り組みが、市民の皆さんに確実に根付いているものと確信しています。

稚内市子どもの貧困問題プロジェクトについて

子どもの貧困対策については、平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、同年8月には「子どもの貧困対策に関する大綱」が閣議決定されています。

子どもの将来が、その生まれ育った環境に左右されないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と、教育の機会均等を図る子どもの貧困対策は、極めて重要です。

本市において、子どもの貧困の現状を教育的な視点から調査・研究するため、この度、小中学校、高等学校、大学、社会福祉協議会、教育委員会による「稚内市子ども貧困対策本部会議」を設置しました。

今後、具体的な事例の調査・研究を行うため、各地区の子育て支援ネットワークや、民生児童委員連絡協議会などの関係機関による「プロジェクト会議」を設置し、提言をまとめる子どもの貧困対策について取り組みを進めていきます。

新年度工事入札の発注状況について

去る、4月7日、新年度第1回工事入札会を執行いたしました。この工事入札会では、「緑・富岡環状通街路整備付帯工事」、「市道整備維持補修工事」、「市営住宅改修工事」等をはじめ、発注件数30件、総設計金額、3億1839万4800円に対し、総落札金額、3億909万2760円の工事発注を行いました。

本年度は、統一地方選挙を控えていたため、骨格予算でのスタートではありましたが、地元経済への悪影響が出ないよう最大限配慮し、前年との比較で、81%程度の発注金額を確保し、さらに、平成25年度、24年度との比較では、同程度以上の規模で執行しました。

また、第1回入札会以降も引き続き工事入札を執行し、これまでに計4回、合計14億7207万8880円を発注し、今後も適切かつ、早期発注に努めていきたいと考えています。

～ 担当窓口の変更について ～

6月から以下の担当窓口が変更になりましたので、お知らせします。

- ◆まちづくり出前講座の申し込み窓口
 旧：市民協働課 → 新：秘書広報課広報広聴グループ ☎ 23 - 6387
- ◆文化振興や総合文化センターに関すること
 旧：社会教育課 → 新：教育総務課文化振興グループ ☎ 23 - 6056
 ※総合文化センターの利用申し込みなど… 総合文化センター ☎ 22 - 2727